

イノベーションで先へ行く! 走れ! 未来へ
ON THE RUN!



第97期中間 株主通信

2019年4月1日から2019年9月30日まで

バンドー化学株式会社

2019年度 第2四半期の連結業績ハイライト

売上高/売上収益

46,234百万円

前年同期比 **4.3%減**

営業利益/コア営業利益

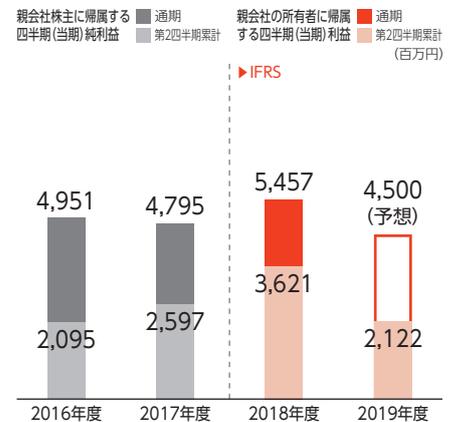
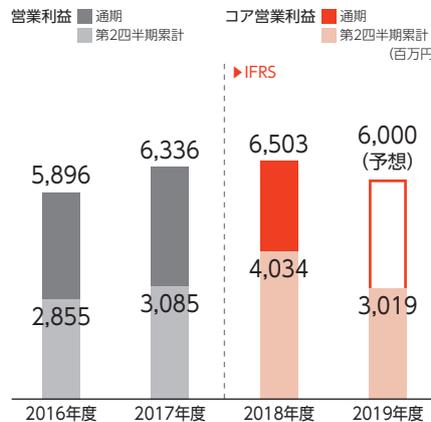
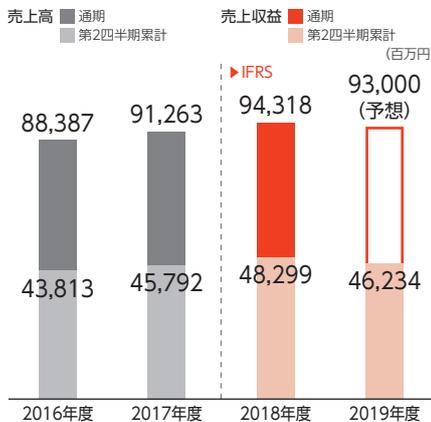
3,019百万円

前年同期比 **25.2%減**

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益/
親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益

2,122百万円

前年同期比 **41.4%減**



(注) 1. 2018年度から国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。
2. コア営業利益は、売上収益から売上原価、販売費および一般管理費を控除して算出しております。

POINT

- 売上収益は、米中貿易摩擦の長期化の影響もあり、海外を中心に減収
- 子会社の新規連結による増益要因があったものの、既存事業における減収に加え、セールスマックスの変動による売上原価率の悪化、リスク分担型企業年金への移行損により、減益

2019年度 通期の連結業績見通し

売上収益

93,000百万円

前期比 **1.4%減**

コア営業利益

6,000百万円

前期比 **7.7%減**

親会社の所有者に帰属する
当期利益

4,500百万円

前期比 **17.5%減**



代表取締役社長

吉井満隆

激しい環境変化に適応する 取り組みを推し進める

株主の皆様には、日頃は格別のご高配にあずかり、心より御礼申し上げます。第97期中間株主通信をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

私たちは、現在、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”（未来への躍進）の第2ステージのも

と、新事業と現事業の両輪による取り組みに注力しています。現在、当社グループは、自動車産業における100年に一度といわれるイノベーションや、米中貿易摩擦など、激しい環境変化への対応と事業ポートフォリオの転換に取り組んでいる最中です。私は、こうした局面においてこそ、

特集 製品イノベーション

電子機器の小型化・高性能化に貢献

バンドー化学の「熱マネジメント」

電子機器の小型化・高性能化の阻害要因となる「熱」。バンドー化学の分散技術、素材加工技術が解決します。

近年、自動車、鉄道、新エネルギーなどのさまざまな分野でパワーデバイスのさらなるハイパワー化に加えて、IoTやエッジコンピューティングの通信産業への適用が本格化するなど、電子デバイスの「小型化」「高性能化」要求が加速度的に高まっており、「熱マネジメント」の必要性が増しています。

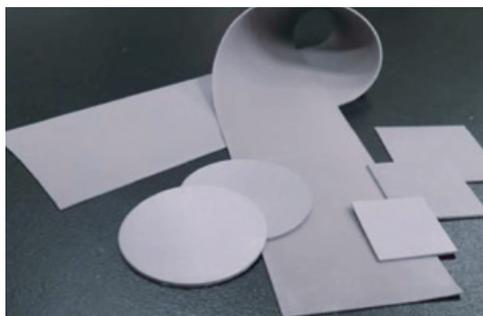
高まる小型化・高性能化要求への
対応には積極的に「熱をコントロール」
する「熱マネジメント」が必要不可欠

効果的な熱マネジメントのためには、緻密な熱設計に加えて、構成部品となる電子資材の高機能化が欠かせません。バンドー化学は、長年培ってきたさまざまな材料技術を応用することで、電子資材の高機能化を実現しています。より厳しい条件下での「熱設計・トータル設計」要求に応える電子資材製品を開発・提供することで、電子部品のさらなる「小型化」「高性能化」を推進していきます。

バンドー化学が提供する価値
「特長のある」製品が効果的な熱伝導を実現

高熱伝導シート「HEATEX®」の特長

- 「超高熱伝導率」と「耐熱性」を両立
軸方向に高い熱伝導率を持つ窒化ホウ素を伝熱フィラーとして使用。厚み方向に「配向」することで、高い熱伝導率を実現。ベースにはシリコンゴムを使用し、ゴム素材特有の柔軟性と優れた耐熱性があります。
熱伝導率：17W/mK



電子機器の小型化・高性能化に貢献！

バンドー化学の熱マネジメント

バンドー化学株式会社
特設WEBサイト公開中！



私たちが長年の事業活動で培い、連続と受け継いできたDNA“バンドースピリッツ”の真価を発揮し続けることが、何よりも大切であると考えています。

足元の状況は、当社グループの主要な市場である自動車分野におきましては、生産台数が、米国では前年水準で推移しましたが、日本では消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の影響もあり、前年同期を上回る状況で推移しました。一方、欧州、中国およびアジア地域では、

世界景気の減速等もあり、生産台数が総じて前年同期を下回る状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、新事業の創出、コア事業の拡大、ものづくりの深化と進化、個人と組織の働き方改革の4つの指針を掲げ、グローバルで「際立つ」サプライヤーを目指しての活動を推進しました。

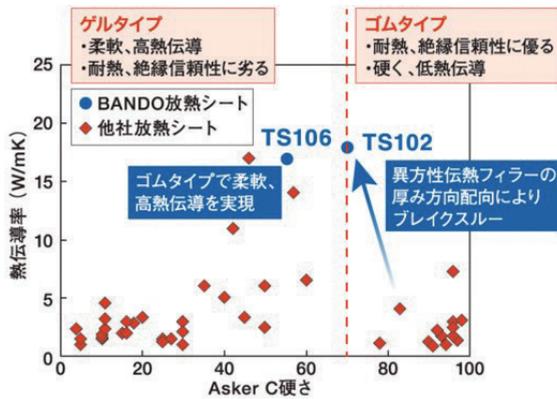
これらの結果、当第2四半期連結累計期間は、売上収益は46,234百万円(前年同期比4.3%減)、コア

営業利益は3,019百万円(前年同期比25.2%減)、営業利益はリスク分担型企業年金への移行などの影響もあり、2,854百万円(前年同期比35.4%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2,122百万円(前年同期比41.4%減)となりました。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

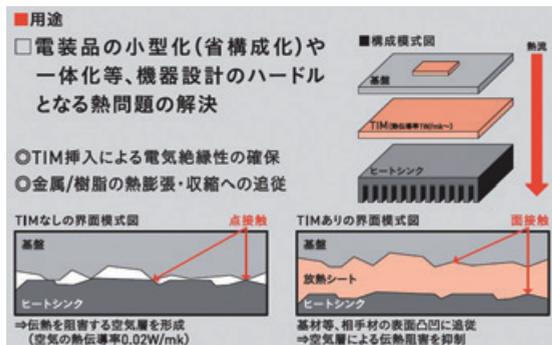
●絶縁タイプと導電タイプをラインナップ

窒化ホウ素フィラーを用いた絶縁タイプに加えて、さらに高熱伝導な導電タイプもラインナップしています。さまざまな用途に適用し、「熱マネジメント」を実現します。



●表面性、柔軟性を選択可能

強度のあるシート状のため、さまざまな形状への加工や作業が容易に行えます。用途に合わせて表面の非粘着・粘着と柔らかさを選択できます。



(注) TIM (Thermal Interface Material)

銀ナノ粒子接合材「FlowMetal®」の特長

●低い接合温度と高い耐熱性を両立

従来の「はんだ」などでは、接合温度以下で使用することが必要でしたが、接合温度を超える高温環境でも支障なく使用できる耐熱性を持っています。

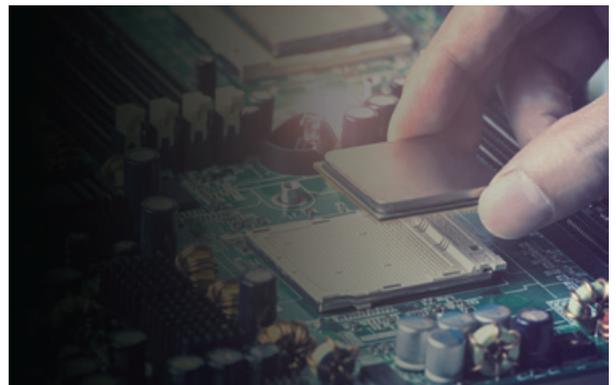


●無加圧での接合が可能

無加圧接合でも、加圧時と同様の耐久性、耐熱性を発揮。加圧工程が不要になることで製造設備を簡略化でき、コストおよび工数削減につながります。

●高熱伝導率と低電気抵抗値を両立

従来の接合材材料では実現できなかった高い熱伝導率と低い体積(電気)抵抗値を両立。パワーデバイスなどの高耐圧・大電流チップの接合における通電や放熱にも、問題なく対応します。



自動車部品事業

売上収益 19,972百万円 前年同期比 4.4%減

セグメント利益 1,130百万円 前年同期比 32.9%減

- 国内では、補修品の販売は増加したものの、自動車メーカー向け補機駆動用伝動システム製品(オートテンショナ、バンドースムースカップラー®など)の販売が減少。
- 海外では、米国において積極的な顧客開拓に注力したことにより、補修品などの販売が増加したものの、中国およびアジア地域において販売が減少。

高機能エラストマー製品事業

売上収益 7,023百万円 前年同期比 6.4%減

セグメント利益 213百万円 前年同期比 41.9%減

- 機能フィルム製品については、建築資材用の販売は増加したものの、工業資材用フィルムおよび装飾表示製品の販売が減少。
- 精密機能部品については、精密ベルトの販売が減少。

産業資材事業

売上収益 17,015百万円 前年同期比 7.8%減

セグメント利益 1,252百万円 前年同期比 1.9%増

- 伝動ベルトについては、国内では、機械受注の減速基調により、産業機械用伝動ベルトの販売が減少。また、米国においては、産業機械用伝動ベルトの販売が減少するとともに、中国およびアジア地域においては、主力顧客の減産などの影響により農業機械用伝動ベルトの販売が減少。
- 運搬ベルトについては、国内において、鉄鋼向けや、物流機器向けの販売が増加。

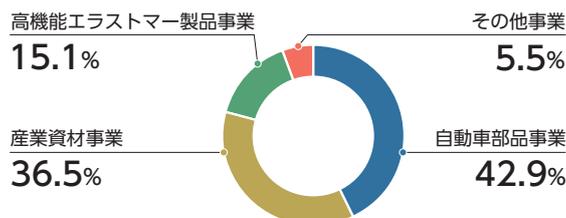
その他事業

売上収益 2,570百万円 前年同期比 37.5%増

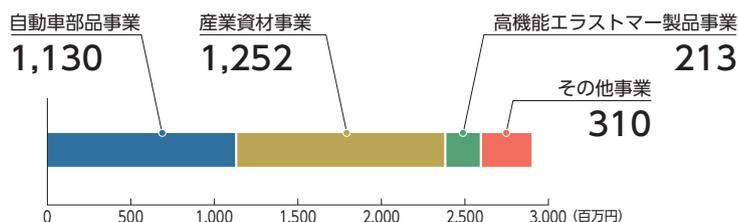
セグメント利益 310百万円 前年同期比 32.7%減

- ロボット関連デバイス事業、電子資材事業に加え、医療機器メーカー買収などが収益に寄与。セグメント利益は、新製品開発のための先行投資や景気減速による販売減少もあり、減益。

当第2四半期累計のセグメント別売上収益構成比



当第2四半期累計のセグメント利益



※上記の各セグメント別売上収益およびセグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

TOPICS

2019 4月

●医療機器メーカー株式会社 Aimedic MMTの全株式を取得し、子会社化

5月

●「NANO KOREA 2019」に出展(韓国KINTEX 4-5ホール)

6月

●「2019国際食品工業展(FOOMA JAPAN2019)」に出展(東京ビッグサイト)

7月

●「第2回 5G/IoT通信展」に出展(東京ビッグサイト)

8月

●「CSR報告書2019」を発行

9月

●「アニュアルレポート2019(英語版)」を発行

2019年
5月

医療機器メーカー株式会社 Aimedic MMTの全株式を取得し、子会社化

同社が保有する医療事業体制を一挙に獲得することで、伸縮性ひずみセンサ「C-STRETCH®」を新事業の柱の1つとして、医療機器・ヘルスケア機器事業の確立に取り組んでまいります。



▶ 連結財政状態計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目		前期末 (2019.3.31)	当第2四半期末 (2019.9.30)
資産	流動資産	53,564	52,676
	非流動資産	48,992	65,759
資産合計		102,557	118,435
負債	流動負債	24,232	37,210
	非流動負債	10,192	12,920
負債合計		34,424	50,130
資本	親会社の所有者に 帰属する持分	67,871	68,057
	非支配持分	261	247
資本合計		68,132	68,304
負債および資本合計		102,557	118,435

▶ 連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 累計期間 (2018.4.1から 2018.9.30まで)	当第2四半期 累計期間 (2019.4.1から 2019.9.30まで)
売上収益	48,299	46,234
コア営業利益	4,034	3,019
営業利益	4,417	2,854
税引前四半期利益	4,769	2,681
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	3,621	2,122

2019年
7月

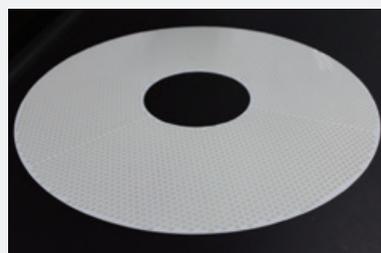
「2019国際食品工業展 (FOOMA JAPAN2019)」に出展 (東京ビッグサイト)

「ミスターシリーズがあなたの工場の悩みを解決します」をコンセプトとして、食品向け軽搬送用ベルトに焦点を当て、「安心・安全」を軸に、「洗浄性」「異物混入防止」「世界規格対応」の高付加価値製品を紹介いたしました。



2019年
7月

「第2回 5G/IoT通信展」に出展 (東京ビッグサイト)



新事業の創出に向けて、電子資材市場に新たな付加価値を提供する新製品として、高熱伝導シート「HEATEX®」、銀ナノ粒子焼結ペースト「FlowMetal®接合材」、基板ラッピングパッド「TOPX®」などを紹介いたしました。

2019年
8月



「CSR報告書2019」を発行

2018年度に改定した「コンプライアンス・人権」「製品・サービス」「環境」「労働・安全」「ステークホルダーコミュニケーション」の5つのCSR推進テーマに沿って、重点課題 (マテリアリティ) ごとにCSR活動について報告しています。

▶株式の状況

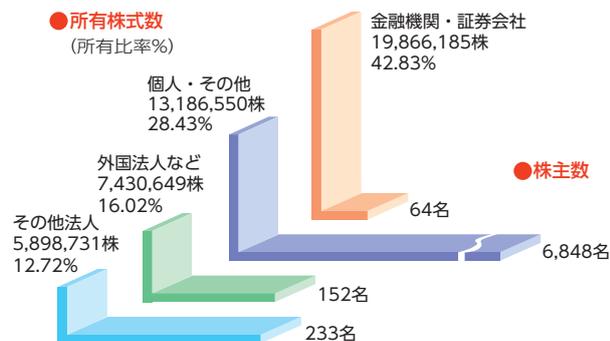
発行可能株式総数 187,000,000株
 発行済株式の総数 47,213,536株
 (自己株式831,421株を含む。)
 株主数 7,297名

▶大株主

大株主名	当社への出資の状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
バンドー共栄会	3,855	8.31
株式会社三井住友銀行	2,313	4.99
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,002	4.32
明治安田生命保険相互会社	2,000	4.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,861	4.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,835	3.96
株式会社みずほ銀行	1,800	3.88
株式会社三菱UFJ銀行	1,575	3.40
日本生命保険相互会社	1,174	2.53
GOVERNMENT OF NORWAY	959	2.07

(注) 1. 出資比率は、自己株式(831,421株)を控除して算出しております。
 2. 上記の出資比率につきましては、小数第3位以下は切り捨てて表示しております。

▶株主構成



(注) 所有比率は、自己株式(831,421株)を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
 中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
 TEL(通話料無料) 0120-094-777
 公告方法 電子公告により行う。
 公告掲載URL <https://www.bandogrp.com>
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって
 電子公告による公告をすることができない場合は、
 日本経済新聞および神戸新聞に掲載して行う。
 上場取引所 東京(第1部)

▶会社概要

社名 バンドー化学株式会社
 Bando Chemical Industries, Ltd.
 創業 1906年(明治39年)4月14日
 設立 1937年(昭和12年)1月7日
 本社事業所 神戸市中央区港島南町4丁目6番6号
 ホームページアドレス <https://www.bandogrp.com>

▶役員

取締役
 代表取締役社長 吉井満隆(社長執行役員)
 取締役 柏田真司(専務執行役員)
 取締役 染田厚(常務執行役員)
 取締役 畑克彦(常務執行役員)
 取締役(監査等委員) 中村恭祐(常勤)
 取締役(監査等委員) 松坂隆廣
 取締役(監査等委員) 重松崇生
 取締役(監査等委員) 清水春生

執行役員

常務執行役員 永瀬貴行
 常務執行役員 万場一幸
 常務執行役員 松尾聡
 執行役員 山口勝也
 執行役員 岡田勉
 執行役員 本田裕治
 執行役員 八木尚史
 執行役員 野口忠彦
 執行役員 植野富夫

※取締役(監査等委員)松坂隆廣氏、取締役(監査等委員)重松崇生氏、
 取締役(監査等委員)清水春生氏は社外取締役であります。

〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いさせていただきます。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

